

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 5月 30日

事業所名 marcher(マルシュ)

| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|----------|--|----|-----|----------------------------------|---|
| 環境・体制整備 | 1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | 1 | 5 | 活動内容に合わせて室内を常に変化出来るようにしている。 | 利用児童の成長とともに若干窮屈さを感じているので安全面の徹底には気を配り、より良い支援を心がける。 |
| | 2 職員の配置数は適切である | 6 | | 職員の人数を増加 | 人数の増加だけでなく、一人ひとりの課題に向き合い大きな成長につなげたい。 |
| | 3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている | 3 | 3 | 動きやすい動線作り。情報は子どもの目線に入る位置になっている。 | 未就学児や、歩行が困難な児童も、安全、安心で過ごせるように細かい配慮が必要。 |
| | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている | 6 | | 毎日の掃除、空気の入替えは徹底している。 | 衛生面、安全面に十分な配慮を行い、心地よい空間作りにも努める。 |
| 業務改善 | 5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している | 5 | 1 | 朝のミーティングにて職員全員で意見交換を行い、改善につなげている | もっと掘り下げて考えられる時間を確保できるよう動きに工夫が必要。 |
| | 6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | 5 | 1 | アンケートや面談等を実施し、意見交換を行っている。 | 保護者からのご意見やご希望等により、しっかり職員間で共有し、迅速に改善できるよう努める。 |
| | 7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している | 3 | 3 | ホームページに掲載している。 | 情報は常に新鮮なものを提供し、保護者の皆さまのご意見やご希望に対して、しっかりと職員間で共有し、迅速な改善を心がける。 |
| | 8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | 2 | 4 | | 職員間で共有し改善につなげる。 |
| | 9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | 3 | 3 | 会社での合同研修を実施。 | 事業所内での研修も増加し、職員の資質向上に努める。 |
| 適切な支援の提供 | 10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している | 5 | 1 | 職員全員で情報を共有し、作成している。 | ニーズや課題を職員全員で分析できる会議の増加。 |
| | 11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している | 4 | 2 | 面談の際に記入してもらい、それを基に話し合う。 | 情報は常に、新鮮さを求めるよう心がける。 |
| | 12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている | 5 | 1 | 児童発達支援ガイドラインを基に会議等で決定する。 | 児童発達支援ガイドラインの周知徹底を図る。 |
| | 13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている | 5 | 1 | 計画書を基に支援を行っている。 | 常に、職員間での確認、共有を徹底し、支援が的確に行われるよう努める。 |
| | 14 活動プログラムの立案をチームで行っている | 5 | 1 | ニーズや課題がずれないように全員で話し合っている。 | 意見交換がスムーズに出来る環境作りを徹底する。 |
| | 15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | 5 | 1 | 研修等で得た情報等を上手く活用している。 | 成長発達段階を確認しながらの工夫が必要。 |
| | 16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している | 5 | 1 | 職員全員の多様な視点を基に作成している。 | 発達段階を確認し、多様な視点を基に作成する。 |

| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 | |
|--------------|--|--|-----|-----------------------------------|---|--|
| | 17 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | 6 | | 毎朝、職員全員参加のミーティングで確認する。 | 支援の内容や役割分担等は近日の状態も把握し、確認するよう心がける。 |
| | 18 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している | 4 | 2 | 毎日のミーティングで振り返りを行い、問題点を共有し次につなげる。 | 振り返りによって得た問題点の検証や改善方法の共有。 |
| | 19 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | 5 | 1 | 日報、活動記録の記録は毎日行う。 | 支援の検証や改善につながる記録方法を的確に行う。 |
| | 20 | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している | 5 | 1 | 子どもの成長や変化に注目し、モニタリング等で話し合い支援計画の見直しを行う。 | 日々の記録や職員の情報を基に評価を出し、定期的にモニタリングを行い、支援計画の見直しの必要性を判断する。 |
| 関係機関や保護者との連携 | 21 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | 6 | | 基本的には児童発達支援管理責任者が参画するが、その子を担当する職員がいれば一緒に参画する。 | 全職員の意見や情報を集め、支援の中から有益な情報が伝えられるように努める。 |
| | 22 | 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている | 6 | | 関係機関で得た情報は職員間で共有し連携を図っている。 | 関係機関との関わりを増加し、スムーズに連携が取れ、支援につなげられる環境作り。 |
| | 23 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている | 4 | 2 | 児童の特性について理解を深め、関係機関と連携し支援につなげている。 | 関係機関との連携をもっとスムーズに行い、支援につなげられるように努める。 |
| | 24 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている | 3 | 3 | 会議等を開催し、情報共有を行っている。 | 関係機関との連携をもっとスムーズに行い、支援につなげられるように努める。 |
| | 25 | 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | 5 | 1 | 会議や送迎時等で情報共有を行っている。 | 情報共有と相互理解を図るために学校での様子などを実際に見学したい。 |
| | 26 | 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | 6 | | 会議や送迎時等で情報共有を行っている。 | 会議等の開催を増加し、情報共有と相互理解を深める。 |
| | 27 | 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | 4 | 2 | 会議等に参加し、情報共有を行い連携している。 | 会議に参加して、スムーズに連携がとれるようにする。研修等には積極的に参加できるように努める。 |
| | 28 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある | 3 | 3 | 公園等での野外活動で様々な関わりができる。 | 野外活動で交流を広げていくように努める。 |
| | 29 | (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している | | 6 | 会議等に参加して、情報を増加していきたい。 | 機会があれば、積極的に参加するように努める。 |
| | 30 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | 5 | 1 | 日頃から送迎の際に申し送りを行い、必要であれば面談をして共通理解を深めている。 | より詳細に伝え合える環境作りに努める。 |
| 31 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている | 2 | 4 | トレーニングの支援はできていないが、時間をかけて面談を行っている。 | ペアレント・トレーニング等ができる環境作りに努める。 | |
| 32 | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | 5 | 1 | 契約時に行っている。 | 丁寧な説明を心がける。 | |
| 33 | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている | 4 | 2 | 会議等を開催して情報共有を行い、支援内容を決定している。 | 保護者とも相談しながら、支援内容の同意が得られるように努める。 | |

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|------------|----|--|----|-----|---|--|
| 保護者への説明責任等 | 34 | 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | 4 | 2 | 保護者からの相談に対して常に対応している。 | いつでも迅速に対応できるよう、環境作りを徹底的に整えていく。 |
| | 35 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | 1 | 5 | | 必要としていない保護者の方にもより良い支援を心がける。 |
| | 36 | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している | 5 | 1 | 相談や申入れには迅速かつ適切に対応している。 | 子どもや保護者からの相談には迅速に、職員間での共有を図り、適切な対応を心がける。 |
| | 37 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | 6 | | 見て安心できる会報を心がけ、参加したくなる行事を立案し、月一で作成、配布している。 | 新鮮な情報を定期的に発信できるように努める。 |
| | 38 | 個人情報の取扱いに十分注意している | 6 | | 施錠できる場所での保管など十分に注意している。 | 保管方法や取扱いには十分な注意を図る。 |
| | 39 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | 6 | | 個人に合わせて、誠意をもって行っている。 | 個人に合った配慮を心がける。 |
| | 40 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | 2 | 4 | 季節の行事やイベント等で一緒に参加している。 | しっかり計画を立案し、実行していけるように努める。 |
| 非常時等の対応 | 41 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している | 4 | 2 | 訓練は年に数回実施。子ども達も一緒に実施する場合もある。 | 各マニュアルの周知、年間行事としての実施を徹底する。 |
| | 42 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | 5 | 1 | マニュアルに沿って実施。子ども達も一緒に実施する場合もある。 | 各マニュアルの周知、年間行事としての実施を徹底する。 |
| | 43 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している | 4 | 2 | 常に保護者との連携に努めている。 | 確認を怠らず、スムーズに連携ができ、安全・安心に努める。 |
| | 44 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | 5 | 1 | 情報共有し、一覧表を作成、見える場所に提示している。 | 情報共有を徹底し、確認を怠らず安全・安心に努める。 |
| | 45 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | 5 | 1 | ヒヤリハット事例をファイリングし事例検討会を開催している。 | 改善にあたり、迅速に事例検討会を開催、情報共有の徹底に努める。 |
| | 46 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | 5 | 1 | 事業所内での研修は実施日々のミーティングでも職員全員で話し合っている。 | 事例検討会としての研修会を行い、虐待防止の理解を深める。 |
| | 47 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している | 4 | 2 | 対応方法について、会議等で話し合い決定している。 | 事前に説明を行い、了解を得た上で、児童発達支援計画に記載する。 |

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。